

## 一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 2022年度定時総会議事録

開催日時：2022年5月29日（日）10:00～10:45

開催場所：天理よろづ相談所病院本館 7F 講堂

会員数：703名（5月31日現在）

出席者：441名（当日出席者28名、委任状による出席者413名）

欠席者：262名

### I 仮議長挨拶

嶋田事務局長から議長が選出されるまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

### II 開会の辞

倉田副会長が、2022年度一般社団法人奈良県臨床検査技師会定時総会を開催する旨、宣告した。

### III 会長挨拶

勝山会長から、3年連続して新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小しての開催となったが、会員の皆様の代表として審議していただきたいと挨拶があった。

### IV 来賓の紹介と挨拶

嶋田事務局長から本年度は来賓の方の出席はないと報告があった。

### V 議長選出

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるも候補はなく、事務局が北川孝道（奈良県総合医療センター）、中島久晴（奈良県総合医療センター）の二氏を推薦し、拍手多数にて承認され、議長就任の挨拶の後、議事に入った。

### VI 議事

#### 1. 総会役員選出

北川議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるも候補はなく、議長に一任となり、事務局から推薦するようにとの指示があり、下記の会員が推薦され拍手多数にて承認された。

[資格審査委員（兼議事運営委員）]

木下真紀（天理よろづ相談所病院）資格審査委員長兼議事運営委員長

北川大輔（奈良県総合医療センター）

小泉 章（奈良県立医科大学附属病院）

大西大樹（西和医療センター）

[書記]

藤本宣子（天理よろづ相談所病院）

小原颯斗（天理よろづ相談所病院）

## 2. 総会成立の宣言

木下資格審査委員長から、本日の出席者数 441 名（出席者 28 名、委任状出席者 413 名）で正会員数（703 名）の過半数に達しているため、総会が成立するとの宣言があった。

## 3. 議案審議

### (1) 第 1 号議案：2021 年度事業経過報告について

北川議長から、2021 年度事業経過報告について一括報告後に質疑を求めるとの説明後、各担当理事から議案書に沿って説明があった。

#### ① 総括：勝山会長

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業通りに事業を実施することができなかった。奈良県医学検査学会は web 開催とした。ワクチン接種実技研修会が奈良県福祉医療部医療政策局主催で 2 回開催され 60 名が受講した。タスクシフト/シェア厚生労働大臣指定講習会が開始されたが、オミクロン株感染拡大の影響により奈良県では一度も開催できなかった。臨地実習指導者講習会が近畿支部で 11 月に開催され、2 施設が参加した。奈臨技ホームページに求人情報の掲載を始めた。開始後 22 件（うち県外 2 件）の掲載依頼があった。学術主催の研修会や奈良若草の会は web を利用しての開催となった。今年度も感染症で明け暮れた一年となったが、会員の協力のお陰で無事総会を迎えられたことに謝辞が述べられた。

#### ② 事務局 総務部：嶋田事務局長

議案書に基づき要旨の説明があった。2021 年度は 2 年目役員による執行部であったが、会員の協力もあり、円滑に事業を運営することができた。理事会は全て web 開催となったが、原則として第 2 木曜日に開催し事業を遂行した。庶務部会は事務局の実務を担当し、奈臨技ニュース等を会員へ配布した。奈臨技 web サイトへのアクセス数は昨年より増加し、特に求人情報・研修会情報の閲覧が突出して多かったことなどが報告された。

#### ③ 事務局 経理部：上杉経理部長

議案書に基づき財政の適正化、財務・税務会計の維持について説明がなされた。

#### ④ 組織法規部：西原組織法規部長

施設代表者・連絡者会議を企画立案したが新型コロナウイルス蔓延時期

のため中止となったことが報告された。

- ⑤ 学術部関係：森嶋学術部長、倉田委員長  
学術理事は4名体制で活動しており、検査研究部門、精度管理推進部門、生涯教育研修部門のそれぞれに担当理事を配置し、学術担当副会長を加えて、それぞれの委員会を中心とした活動を行った。  
検査研究部門は研修会と、第38回奈良県医学検査学会を企画し活動した。  
精度管理推進事業は2021年度奈臨技精度管理調査を実施した。  
2021年度は臨時項目として、SARS-CoV-2 核酸検出(定性検査)を実施し、調査内容は論文化して医学検査誌へ投稿したことなどが報告された。  
生涯教育研修部門は基礎研修会を2回開催し、合わせて78名が受講した。  
臨床検査データ標準化委員会、精度保証施設認証委員会は長期精度管理調査を実施し参加施設は23施設であった。また、LD、ALPの測定方法変更に伴い、変更後の「IFCC法への移行に関するアンケート」を2021年6月に実施したことなどが報告された。
- ⑥ 渉外部：高木渉外部長  
新型コロナウイルス感染症の流行により、県民および会員を対象とした講演会を開催できなかったことが報告された。
- ⑦ 地域保健事業部：西川地域保健事業部長  
コロナ禍により、県民への生活習慣病の予防や健康への啓発を目的とした県内の地方公共団体及び医療関係協会が行う行事の開催が相次いで中止となった。この為、地域保健事業部の活動を行うことが困難であったことが報告された。
- ⑧ 公衆衛生関連：南田公衆衛生担当理事  
コロナ禍の為、がん撲滅のための検査展・検査相談コーナーが中止となったことが報告された。
- ⑨ 福利厚生部：三角福利厚生部長  
日臨技賠償責任保険(リンクス)に関する取り扱い業務を行った。アウトドア同好会、ボウリング同好会は新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止としたことが報告された。
- ⑩ 広報部：小林広報部長  
会誌「まほろば」を1回、および奈臨技ニュースを月1回定期的に発行したことが報告された。
- ⑪ 地区担当部：木下地区担当部長  
入会案内及び会員の異動等について事務局と連携し対応した。会員の慶弔に際し、事務局と連携し電報を送付したことなどが報告された。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、北川議長から第1号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもつ

て承認された旨、宣告した。

(2) 第 2 号議案：2021 年度決算について

北川議長は、2021 年度決算について経理部長に説明を求めた。

2021 年度決算報告：上杉経理部長

議案書に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録について説明があった。

2021 年度決算について説明を受けたのち、北川議長から第 2 号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(3) 第 3 号議案：2021 年度監査報告について

北川議長は、監事に 2021 年度監査報告を求めた。

2021 年度監査報告：吉岡監事

2021 年度事業及び会計について監査を実施し、事業計画等を円滑に遂行し、会計収支に不正がないことを認める説明があった。

説明の後、北川議長から第 3 号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(4) 第 4 号議案：2022 年度事業計画案について

中島議長から、2022 年度事業計画案について一括説明後に質疑を求めるとの説明後、各担当理事から議案書に沿って説明があった。

① 総括：勝山会長

今年度も奈臨技の目的に添い、職能意識を高めると共に、公衆衛生思想の普及・啓発、臨床検査の学術技能の研鑽・発展並びに医療及び公衆衛生の向上を図ることで県民の皆様の健康保持及び促進に寄与する活動を行う。今年度も引き続き「タスクシフト/シェア厚生労働大臣指定講習会」、「臨地実習指導者講習会」、「品質保証施設認定制度」を柱に、事業を展開する。今年度から新役員体制となるため、更なる発展と充実を図ることが説明された。

② 事務局 総務部：嶋田事務局長

今年度は執行部改選の年となるが円滑に引継ぎを行い、より活発な議論、運営を進めていく。総会の開催、理事会の定例開催、各種委員会・会議は必要最低限を原則として開催する。IT 委員会と共同して奈臨技ホームページをより充実したものにできるよう取り組む。日臨技との相互協力を継続し、近畿支部において研修会開催に協力する。奈臨技ニュース、まほ

ろば、メールを通し情報発信に努めるなどの説明があった。

- ③ 事務局 経理部：上杉経理部長  
議案書に基づき財政の適正化、一般社団法人としての財務・税務会計の維持に努めることが説明された。
- ④ 組織法規部：西原組織法規部長  
会員加入促進、施設代表者会議の開催、研修会の開催、必要に応じ定款・諸規定・個人情報保護規定などの細則の整備について説明があった。
- ⑤ 学術部関係：森嶋学術部長、倉田委員長  
検査研究部門運営委員会が中心となり運営を行なう。2022年度奈良県医学検査学会は、テーマを『高まるニーズに応えられる臨床検査技師を目指して』とし、2つの特別企画を準備した。奈臨技講演『タスクシフト・シェアに関する現在、今後の動向について』、シンポジウム『タスクシフト・シェアに関する各施設での取り組み～法改正を受けて各施設での展望を紹介～』を組み合わせて行う。2022年度も引き続き日臨技のシステムを利用して精度管理調査推進事業を行う。生涯教育研修事業は基礎教科研修会を開催予定である。データ標準化や精度保証施設認証に関する日臨技からの情報を、奈臨技ニュース等を通じて掲載し、啓発活動を行うことなどの説明があった。
- ⑥ 渉外部：高木渉外部長  
コロナ禍で中止となっていたイベントが開催される傾向にあることから、奈臨技においても公開講演会が実施できるのではないかと考えている。糖尿病をテーマにした講演会の開催を検討していることが説明された。
- ⑦ 地域保健事業部：西川地域保健事業部長  
地方公共団体や他の医療団体などが主催する公益事業には積極的に参加・協力し、県民への臨床検査啓発活動を推進する。奈臨技ホームページから臨床検査技師求人情報を発信し、円滑な病院運営の一助を担っていくことが説明された。
- ⑧ 地域保健事業部 公衆衛生関連：南田公衆衛生担当部長  
日臨技公益事業として、がん撲滅のための検診受診の啓蒙、STI 予防など国民の健康づくりに貢献する。検査体験を通して健康づくりへの意識高揚を図るとともに、臨床検査の世界や臨床検査技師に興味を持っていただけのような催しを開催することが説明された。
- ⑨ 福利厚生部：三角福利厚生部長  
技師会活動の傷害賠償保険の加入と、会員相互の交流・親睦を深めるため、同好会の活動を助成していくことが説明された。
- ⑩ 広報部：小林広報部長  
会誌「まほろば（会員名簿統合）」と「奈臨技ニュース」の発行を行なうことが説明された。

⑫ 地区担当部：木下地区担当部長

執行部と会員および会員施設との連絡調整、および各施設（施設連絡責任者）へ各種委員会委員や奈臨技事業における、実務委員・役員の推薦依頼を行なうことが説明された。

以上、各部局の事業計画案について説明を受けたのち、中島議長から第4号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(5) 第5号議案：2022年度予算案について

中島議長は、2022年度予算案について経理部長に説明を求めた。

2022年度予算案：上杉経理部長

議案書に基づき予算案の説明があった。追加事項特になし。

2022年度予算案について説明を受けたのち、中島議長から第5号議案について質問を求めたが質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数をもって承認された旨、宣告した。

(6) 第6号議案：2022・2023年度役員について

中島議長は2022・2023年度役員について、松岡選挙管理委員長に説明を求めた。

2022・2023年度役員：松岡選挙管理委員長

定款23条および役員選任規程による任期満了に伴い、役員の改選を行った結果、議案書の通り20名の役員候補となったことが説明された。

役員改選について説明を受けたのち、中島議長から第6号議案について質問、意見を求めた。

事務局より議案書の誤字について下記の説明があった。

誤) 大西大輝氏、正) 大西大樹氏

他に質疑なく、議長は拍手による承認を求め、拍手多数を持って承認された旨、宣告した。その後、中島選挙管理委員長より、新理事を代表して倉田主税氏に当選証書が授与された。

(7) 第7号議案：一般提出議題について

中島議長は、事務局に一般提出議題の説明を求めた。

嶋田事務局長から、総会10日前までに一般提出議題の提出がなかったことが報告された。

中島議長より、会場の出席者に緊急動議の有無が確認されたが無く、第7号議案の審議の終了と本日の審議事項が全て終了したことを宣告した。

#### **VII 総会役員及び書記の解任**

中島議長から、総会役員及び書記を解任する旨の通告と、協力への謝辞が述べられた。

#### **VIII 議長挨拶**

中島議長から、議事の進行の協力に対し謝意が述べられた後、自らを解任する旨宣告した。

#### **IX 閉会の辞**

中田副会長から、一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 2022 年度定時総会の閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し解散した。

2022 年 5 月 29 日  
一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

会長 勝山 政彦

監事 吉岡 明治

監事 西浦 宏和